

〔 横浜市芸能センター 横浜にぎわい座 〕
 平成26年度業務報告及び収支決算
 〔 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 〕

※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業。○：共催事業
 を示します。
 ※ 文中の達成指標、達成状況欄において、
 □：定量的指標。■：定性的指標
 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市芸能センター 横浜にぎわい座
所在地	横浜市中区野毛町 3-110-1
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下3階地上13階建の地下2階から地上4階及び地上5階部分の各一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 4358.97㎡
開館日	平成14年4月13日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル1階
代表者	理事長 澄川 喜一
代表者設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成23年4月1日から平成28年3月31日まで

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

横浜にぎわい座は、大衆芸能の伝統を今に受け継ぎつつ新しい芸能を生み出す場です。平成26年度は新たな取り組みを行い、国際交流並びに市民協働の取り組みを発展・拡大しました。

東アジア文化都市2014横浜では、主要事業のひとつを担い、横浜市の文化政策に寄与しました。大衆芸能作品の創造発信と若手実演家の育成に努めるとともに、こども寄席、企画展示、福祉施設等へのアウトリーチなど、市民参加により大衆芸能へ誘う企画を前年より幅広く展開しました。神奈川県立図書館と初の連携事業を実施するなど、様々な組織との相互協力を一層推進しました。

また、チケット発売日の前倒しや利用者獲得策により収入を確保しつつ、収入に見合った経費執行とし、健全で持続可能な経営を実現させました。

(2) 26年度の業務の方針及び達成目標の総括

① 事業の総括

毎月1日～15日の常打ち公演と、月後半の若手育成公演を中心とした小ホール企画を基本として、年間255回の公演を開催しました。

大衆芸能の潮流を踏まえつつ、「にぎわい座らしさ」を加味した企画として、落語界の各派のバランスと、顧客のニーズを念頭に顔付けをすることで、熱心な大衆芸能ファンから、年に1回だけお楽しみいただく方まで、幅広い方々にご覧いただけるラインナップを展開しました。

また、以前より継続してきた、さまざまな外部の組織等と連携したアウトリーチ公演や企画協力などは、今年度は回数・内容ともにより充実したものとなりました。

② 施設運営の総括

大衆芸能専門施設として、わくわくする雰囲気を作り笑顔で温かい接客を行いました。利用者獲得に努めるとともに、施設利用相談から当日まで、利用者ニーズを把握し、広報協力などのきめ細かいサポートにより、次の利用につなげました。この取り組みにより、施設利用率、利用料収入とも前年度を上回ることができました。

広報面では、Facebookなど、WEBを活用した積極的な情報発信を行いました。

③ 施設管理の総括

安全・安心な施設を提供するため、関係機関と情報を共有しながら施設を良好な状態に保ちました。非常時の対応力向上を目指した防災訓練と、その振り返りによるマニュアル改定を行い、危機管理体制を強化しました。

④ その他の総括

「東アジア文化都市 横浜 2014」の企画として、「三国三様 日中韓の伝統人形劇」の制作・実施を担当し、昼夜2公演に満席のお客様を迎えました。日本初上演のパルタル（韓国）をはじめ、日中韓それぞれの文化に基づいた人形劇を比較対照できる形で上演した公演として、ご来場の方に満足を得ていただくとともに、新聞を中心としたマスメディアにも数多く取り上げられる注目度の高い企画となりました。

4 業務の取組と達成状況

ア 鑑賞機会提供の安定的開催と充実について(鑑賞機会提供事業)

[目指す成果]		
<ul style="list-style-type: none"> ・「にぎわい座ならではの」の多彩な公演の経常的な開催により、多くの方が気軽に大衆芸能を楽しんでいただける場とします。 ・入場料収入が事業経費を上回る、安定的で継続性の高い収支構造とします。 		
[成果についての振り返り]		
<p>毎月定例開催の有名会や、ニーズの高い独演会シリーズをはじめとした「にぎわい座らしさ」を押し出した企画と、新進の若手演者による小ホール企画を中心に、幅広い層のニーズに応えられる内容の企画を、達成指標を上回る延べ255公演実施しました。</p>		
[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
横浜にぎわい座経常事業 芸能ホール公演:原則と して毎月1日～15日	<input type="checkbox"/> 年間 230 公演以上の主催 公演 <input type="checkbox"/> 入場者月平均 3,500 名	<input type="checkbox"/> 年間255公演を実施 <input type="checkbox"/> 入場者月平均3,617名 有名会・名作828名+企画公演2,520名+小ホール269名

<p>小ホール公演：毎月月後半に2～3回程度</p> <p>●『横浜にぎわい座 有名会』（毎月7回開催） 落語と多彩な色物が順番に演じられることで、“寄席”の芸と雰囲気初めての方でも気軽に楽しめる公演。</p> <p>●『にぎわい座 名作落語の夕べ』（毎月1回開催） 4席の古典落語を、真打の落語家が1席ずつネタ出しで口演する、じっくりと落語の名作を楽しむ公演。</p> <p>●『横浜にぎわい座 企画公演（演芸バラエティ）』 落語・漫才・コントから喜劇や軽演劇等まで、幅広くバラエティに富んだ大衆芸能公演を日替わりで開催。</p>	<p>有名会・名作 900 名＋企画公演 2,600 名</p> <p>□団体への販促 月平均 8 団体の誘致 提携団体の機関誌等への情報掲載：年 3 件</p>	<p>□団体誘致：月平均 8 団体 グリーンカードメンバーズ通信（神奈川県経営者福祉振興財団）への情報掲載 2 回 P I A だより（横浜金沢産業連絡協議会）へのチラシ同送 1 回 神奈川県厚生福利振興会 w e b サイトでの公演情報掲載 8 回（8 月～3 月）</p>
--	---	--

イ にぎわい座からの創造発信について（創造発信事業）

<p>[目指す成果] 大衆芸能の伝統を踏まえつつ、にぎわい座の独自性を加味した企画を実施することで、過去から未来へ続く大衆芸能の潮流の一端を担います。</p> <p>[成果についての振り返り] 連続で開催してきた「桂歌丸 語り直して 三遊亭圓朝作 怪談 真景累ヶ淵」は、演者都合により2公演に分けての開催となったものの、好評のうちに最終回となる「第七話」まで上演されました。古典の名作を、「語り直し」という手法で、現代でも理解されやすい形にして発信する、創造的な企画でした。「志の輔noにぎわい」も、映像を活用した作品を、にぎわい座という寄席的な空間のため、リニューアルしながら上演し、大好評をいただきました。</p>

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●『桂歌丸 語り直して 三遊亭圓朝作怪談真景累ヶ淵』(年1回開催)</p> <p>三遊亭圓朝の古典落語の大作怪談に、桂歌丸が新たな息吹を吹き込み、現代の観客に向けて発信する公演。</p> <p>●「志の輔 no にぎわい」(年4回開催)</p> <p>独特の世界観が魅力の立川志の輔が、新たな視点で解釈した古典落語や、映像等も活用した新作落語等を織り交ぜて演じる独演会シリーズ。</p> <p>●独演会シリーズ</p> <p>にぎわい座独自の視点と切り口で実力派落語家の魅力を発信する独演会シリーズ。現代の演芸界の潮流の一端を担っています。</p>	<p>□「桂歌丸 語り直して 三遊亭圓朝作 怪談 真景累ヶ淵」 入場者数: 300名以上</p> <p>□「志の輔 no にぎわい」 入場者数: 各回 300名以上</p> <p>□「独演会」シリーズ(毎月1回以上開催)</p>	<p>□24年度から3年にわたって開催してきた「桂歌丸 語り直して 三遊亭圓朝作 怪談 真景累ヶ淵」は、当初は1回での上演を予定していましたが、出演者の体調等を鑑み、2公演に分けての実施となりました。いずれの回も、過去の名作に新たな命を吹き込み、その魅力を現代の観客にも理解しやすい形にすることで、さらに未来へと続いていく創造的な企画となりました(2公演入場者数合計710名/1公演平均355名)。</p> <p>□「志の輔noにぎわい 大河への道～伊能忠敬物語」は、PARCO劇場という演劇公演に適した会場用に制作された演目で、演者の思い入れも深い映像が重要な要素となっているため、寄席囲い等も設置した寄席空間であるにぎわい座の舞台のため、各種の調整を加えたオリジナルのバージョンでの上演となり、実施した3公演すべて完売となりました。</p> <p>(3公演入場者数合計1,037名/1公演平均346名)。</p> <p>□独演会シリーズ 年間52回開催</p>

ウ にぎわい座を拠点とした若手実演者の育成について(育成事業)

<p>[目指す成果]</p> <p>若手実演者に研鑽の場を提供し、大衆芸能の未来を担う「将来の名人」の誕生に寄与することで、大衆芸能界全体の発展に貢献します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>「登龍門シリーズ in のげシャール」は、達成指標を上回る回数の公演を実施し、入場者数も目標を上回る数値となりました。25年度の春風亭一之輔につづき、三遊亭兼好、古今亭文菊も、安定した実力と人気を踏まえ、芸能ホールでの公演への移行が成功しつつあります。平成26年度は、2つの新シリーズを立ち上げ、若手実演者が研鑽と飛躍するための機会を提供し、育成事業の成果を上げています。</p> <p>また、毎月定例開催している有名会も、引き続き、落語協会と落語芸術協会の前座と一緒に活動する貴重な場として、切磋琢磨しあえる、前座修行のための舞台ともなっています。</p>

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●『登竜門シリーズ in のげシャール』</p> <p>小ホールで開催する若手実演者による公演。</p> <p>●『企画公演(演芸バラエティ)』における小ホールでの若手育成公演出演者の登用。</p> <p>○『坂あがりスカラシップ』</p> <p>急な坂スタジオ・STスポット横浜とのネットワークにより、新進芸術家の活動を支援する事業。</p>	<p>□『登竜門シリーズ in のげシャール』</p> <p>年間15回以上の開催</p> <p>□『横浜にぎわい座 企画公演(演芸バラエティ)』</p> <p>年5回以上の登用</p> <p>上記公演の入場者数:各回120名以上</p> <p>□『坂あがりスカラシップ』</p> <p>支援対象者:1名</p>	<p>□『登竜門シリーズ in のげシャール』</p> <p>年間19回開催</p> <p>『登竜門シリーズ in のげシャール』として、「神田蘭独り語り」と「桂三木男助けに向かう会」の2つを新規にスタートしました。</p> <p>□芸能ホールの『企画公演』の中で、小ホール若手育成公演の演者出演の企画を10回開催。</p> <p>上記公演の入場者数:平均入場数248名</p> <p>□26年度支援対象者は、継続・新規 各1名</p> <p>新規支援対象者の募集に当たっては、「坂あがりスカラシップ」の趣旨や内容への理解を深めたうえで応募してもらったため、相談会を実施しました。</p> <p>継続・新規の2名の対象者に対しては、月一回のヒアリングを実施し、対象者と担当者との一層のコミュニケーションの深化をはかり、効果的な活動へとつなげていきました。</p> <p>継続支援対象者の3年間活動の集大成として、坂あがりスカラシップ2014対象公演 ブルーノプロデュース『プリズムが砕けて、青』を実施しました。</p> <p>公演日:2015年3月27日(金)~30日(月)【全6ステージ】会場:STスポット 入場者数:117名</p>

エ 多様な世代に向けた教育普及活動の拡充について(体験・学習事業)

<p>[目指す成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもを対象とした大衆芸能の教育・体験プログラムを通じて、創造力の育成に貢献します。また、大衆芸能の魅力に触れることで、それを身近なものと感じる層を拡大します。 外部の組織や施設等との連携した講座等の企画により、幅広い層に大衆芸能や寄席の魅力を普及します。 <p>[成果についての振り返り]</p> <p>市内の小学校での「学校プログラム」や、芸能ホールに近隣の小学生を招いての「寄席体験プログラム」の実施。また、夏の定例企画となった、一般向けの「寄席文字体験教室」や、大学生から社会人を対象とした野毛まちなかキャンパス、みなとみらい地区の就業者を対象とした「寄席体験企画」「かもめスクール」など、大衆芸能の魅力に触れる機会を、多角的なプログラム展開で提供しました。</p>

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●『横浜市芸術文化教育プラットフォームフォーラム 学校プログラム』</p> <p>○『寄席体験プログラム』 西区・中区の小学生を対象に、芸能ホールで【寄席文化】を体験してもらう公演。</p> <p>○『大衆芸能関連講座』 全年齢に向けて、経常企画と連動したレクチャー企画や体験講座を実施。</p>	<p>□『横浜市芸術文化教育プラットフォームフォーラム学校プログラム』コーディネート事業の実施(1校以上)</p> <p>□『寄席体験プログラム』 参加者：1,500名以上</p> <p>□『大衆芸能関連体験講座』 子どもや、みなとみらい地区の就業者など、幅広い層を対象とした講座の実施(年間3企画以上)</p>	<p>□市内小学校3校で落語のプログラムを実施 (計7日間実施/延べ1,613名参加) 2校では、プロの落語家による落語・小咄の実演とレクチャーの後に、児童全員が練習、発表を行いました。 また、1校では、落語と太神楽曲芸を全校で鑑賞するプログラムを実施しました。</p> <p>□『寄席体験プログラム』は、6月と10月で合計7日間開催し、18校1,613名の生徒が参加。</p> <p>□『大衆芸能関連体験講座』 年間6企画を実施 5-6月、11-12月「かもめスクール」(みなとみらい地区就業者対象) 8月「寄席文字体験教室」(一般向け) 11月「県立図書館トークショー(連携企画)」(一般向け) 12月「寄席体験企画」(みなとみらい地区就業者対象) 11-1月「野毛まちなかキャンパス」(大学生と社会人対象)</p>

オ 連携による大衆芸能振興の展開について(連携事業)

<p>[目指す成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の団体等と協働することで、大衆芸能を通じた地域の賑わいづくりに貢献します。 ・財団が運営する施設間の連携による、ジャンルを超えたプロモーションや顧客開拓を通じて、芸術文化のすそ野の拡大に寄与します。また、連携により、多彩なアートを活用した横浜市の魅力の向上に貢献します。 <p>[成果についての振り返り]</p> <p>地域の組織である「野毛地区街づくり会」との緊密に連携しながら、野毛大道芸や野毛まちなかキャンパスなどの地域の企画に参加し、地域の活動を通じた大衆芸能振興に努めました。また、多角的な情報発信として、財団が発行する紙媒体およびweb上でのヨコハマ・アートナビや、YAFチャンネルを活用した情報発信、また、にぎわい座webサイト上での動画配信などにも積極的に取り組みました。</p>

<p>[取組内容]</p> <p>●『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』への参加（協力）</p> <p>地域の団体・組織が開催する芸術文化を活用して、地域の活性化を図る企画。</p> <p>●財団が運営する施設間の連携によるプロモーション</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』</p> <p>・『野毛大道芸』への展示会場他の提供(1回以上)</p> <p>・『野毛まちなかキャンパス』講座開催(1回以上)、会場提供(2回以上)</p> <p>■ヨコハマ・アートナビの誌面やWEB、YAFチャンネルなどを活用し、財団による所管施設やジャンルを越えたプロモーションの一角を担います。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□『野毛大道芸2014 オータム フェスティバル』の開催に協力しました。</p> <p>展示企画については、大道芸実行委員会側の都合により、今年度は実施されませんでした。『野毛まちなかキャンパス』では、予定を上回る会場提供や広報協力など、積極的に参画しました。</p> <p>講座開催（1回）</p> <p>会場提供（4回）</p> <p>■web版・冊子版のヨコハマ・アートナビで、公演情報・施設情報を随時発信しました。</p> <p>YAFチャンネル用に2公演について収録を実施するとともに、にぎわい座webサイト上では公演の紹介等のため、演者出演によるオリジナルの動画を5件発信しました。</p> <p>また、財団施設間連携プロジェクトとして、子ども事業企画会議ミーティング、専門施設広報担当意見交換会に参画しました。</p>
---	---	--

カ 大衆芸能に関わる市民活動への支援について(市民協働による事業や運営の展開)

<p>[目指す成果]</p> <p>大衆芸能の魅力を多方面で活用し、地域の活動・イベントとの連携等、幅広く対応できる「コーディネート・相談」機能を稼働させ、市民の多様な活動をサポートします。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>前年度から継続して実施してきた連携・協働企画は、相手先との関係の深化や新たな会場での実施など、より充実した形で実施できました。また、地域の文化資源を歩いて回る企画や「街コン」の場としての活用など、新たな相手先と活用手法に取り組みました。「コーディネート・相談」機能についても、相手の要望にあわせた、きめ細かい対応に努めました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>●『大衆芸能「コーディネート・相談」機能』</p> <p>にぎわい座が蓄積する大衆芸能の情報・ノウハウを、市民活動に幅広く活用してもらうため、情報発信・提供機能を強化します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□『大衆芸能「コーディネート・相談」機能』</p> <p>他の施設や組織へ情報やノウハウの提供、企画制作への協力(年間10件以上)</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□『大衆芸能「コーディネート・相談」機能』</p> <p>他の施設や組織へ情報やノウハウの提供、企画制作への協力：年間18件</p> <p>前年度から継続実施してきた、中区役所と地域の銭湯との連携した「銭湯寄席」(年2回)や、障がい者就労支援施設と連携した企画(年3回)等は、回数を重ねることで、より円滑な運営体制を構築するとともに、いずれの企画でも新規会場での実施を行い、活動の幅も拡大しました。</p>

<p>○『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』 (協力)</p> <p>●野毛地区街づくり会の中に設置された「にぎわい座利用促進委員会」と協働し、地域振興に取り組む市民活動を支援します。</p>	<p>■『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』 事業の共同制作や広報協力、展示・レクチャー企画等への会場提供等により、地域市民との協働で地域の賑わいづくりに寄与します。</p> <p>□街づくり会利用枠での利用数(5公演以上)</p>	<p>また、学校や地域の組織等を対象にした貸切公演の実施や、にぎわい座公演と地域の文化資源を歩いて回るイベントや「街コン」を企画する組織との企画など、多様な相手先と連携・協働することで、大衆芸能に接する方の範囲の拡大に努めました。</p> <p>また、大衆芸能に関する各種の問合せに対しても、相手先に合わせたアドバイスやコーディネートを行い、芸能センターとしての「相談機能」を発揮しました。</p> <p>■『野毛大道芸2014 オータム フェスティバル』の開催に協力しました。</p> <p>なお、展示企画については、大道芸実行委員会側の都合により、今年度は実施されませんでした。</p> <p>『野毛まちなかキャンパス』では、全12講義中、5講義で講義制作・講義サポート・施設提供という形で、積極的に参画しました。</p> <p>□街づくり会利用枠で下記8回のご利用がありました。</p> <p>8月31日 NOGE JAM FESTIVAL (芸能ホール) 9月23日 野毛地区敬老会 (芸能ホール) 10月26日 アジアいちご基金寄席 (芸能ホール) 11月21日 JAZZクルーズコンサート (芸能ホール) 12月22日 まちなかキャンパス (芸能ホール) 1月25日 賑わいカラオケ大会 (芸能ホール) 1月26日 まちなかキャンパス (野毛シャーレ) 3月21日 おもしろ邦楽セミナー発表会 (芸能ホール)</p>
--	--	--

キ 大衆芸能情報センターとしての情報拠点化について

<p>[目指す成果]</p> <p>大衆芸能に関連する公演情報を継続的、多角的に収集・蓄積・発信することで、大衆芸能の魅力が幅広い層に伝わり、大衆芸能の普及・認知度を向上させます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>2階の情報コーナーでは、大衆芸能に関する多様な展示事業を無料で開催しました。今年度は、県立図書館との連携企画として、図書館所蔵の資料と青少年センターで実施の企画と連動した「笑いと健康」に関するパネル展示という、新たな切り口で大衆芸能に触れる機会となる展示を開催しました。</p> <p>また、施設内外で開催される大衆芸能関連の公演等のチラシやポスターについても、引き続き積極的に配架・掲出し、来館者にさまざまな情報を提供しました。</p>
--

<p>[取組内容]</p> <p>●『情報コーナーでの大衆芸能情報の提供』</p> <p>●『電子大福帳の活用』 主催公演の情報(公演日、演者、ネタ等)を「電子大福帳」へ入力・蓄積していきます。</p> <p>●『展示事業』 2階情報コーナーでの大衆芸能資料を中心とした「常設展」「企画展」の開催。 (一部協力)</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■『情報コーナーでの大衆芸能情報の提供』 大衆芸能関連の配布物について、公演の開催地域や形態を問わず幅広く受け入れて配架します。</p> <p>□『電子大福帳の活用』 全ての主催公演情報の入力(年間230件以上)</p> <p>□『展示事業』 にぎわい座を素材とした作品を継続的に制作する画家・中島修の作品展の他、年間3回以上「企画展」を開催します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■公演や書籍、DVDなどの大衆芸能に関するさまざまなチラシやポスター等の他、地域でのイベント等のチラシなどを幅広く受け入れ、館内で配架・掲出しました。</p> <p>□『電子大福帳の活用』 主催公演情報の入力：年間255件</p> <p>□『展示事業』 「企画展」年間4回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お笑いぱっちり倶楽部寄席写真展 ・中嶋修・横浜にぎわい座を描く2014 ・寄席文字展(寄席文字講座関連展示) ・笑う門には福来る、でも笑うだけでは済まないぞ(県立図書館連携事業関連展示) <p>※上記以外に常設展示を実施</p>
--	--	---

ク 地域活性化への貢献について

<p>[目指す成果]</p> <p>「野毛地区街づくり会」をはじめとする地域の各団体と協力・協働し、相互の広報協力・情報発信等を行うことで、街のにぎわい創出に貢献します。また、隣接する「みなとみらい地区」への情報発信や協力関係を構築することで、野毛方面への人の流れづくりに寄与します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>横浜にぎわい座に来館するお客様に「野毛通手形」や「野毛のランチ情報」などを活用して野毛の情報を発信するとともに、野毛地区街づくり会との協力による横浜にぎわい座ポスターの街中掲出、「野毛大道芸」をはじめとする地域イベントへの積極的参画などを通し、街のにぎわい創出に貢献しました。また、みなとみらい地区の在勤者や在住者へのプロモーションを行い、野毛地区への人の流れづくりにも努めています。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>○『地域の飲食店等と連携したプロモーション活動』(協力)</p> <p>○『野毛大道芸』『野毛ま</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■『地域の飲食店等と連携したプロモーション活動』 「野毛通手形 SeasonVI」への参加の他、地域の飲食店等と連携した集客・広報活動を実施します。</p> <p>□『野毛大道芸』『野毛ま</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■野毛地区の飲食店による「野毛通手形」に参加する他、地域の企画やイベントのチラシやポスターの掲出などを積極的に行いました。</p> <p>また、近隣の町内会等が主導して実施している「大岡川さくらまつり」へも、広告の掲載やイベント実施への協力等を行い、地域の賑いの増加に寄与しました。</p> <p>□『野毛大道芸2014 オータム フェスティバル』の開</p>

<p>ちなかキャンパス』 (協力)</p> <p>● 『「みなとみらい地区」からの誘客活動』</p>	<p>なかキャンパス』</p> <p>『野毛大道芸』への展示会場他の提供(1回以上)</p> <p>『野毛まちなかキャンパス』講座開催(1回以上)、会場提供(2回以上)</p> <p>□ 『「みなとみらい地区」へのプロモーション活動』</p> <p>MMcc など、みなとみらい地区の企業や組織と連携した企画の実施(3回以上)</p>	<p>催に協力しました。</p> <p>なお、展示企画については、大道芸実行委員会側の都合により、今年度は実施されませんでした。</p> <p>『野毛まちなかキャンパス』では、全12講義中、5講義で講義制作・講義サポート・施設提供という形で、積極的に参画しました。</p> <p>□連携企画：3回実施</p> <p>12/5に芸能ホールで「MMcc落語会」を実施したほか、MM21主催の「かもめスクール」でみなとみらい地区のオフィスワーカーを対象とした講座「これを知っておけば落語会が100倍楽しめる！」を春と秋に1回ずつ計2回実施したところ、一番人気の講座となり、次回以降の継続が決まりました。</p> <p>また、神奈川大学の公開講座に協力しました。</p>
--	---	---

ケ 市の文化政策との連携について

<p>[目指す成果]</p> <p>多様な施設を運営する財団の施設の1つとして、「横濱ジャズプロムナード」や「フェスティバル事業」等への参加や、他の施設や組織との協働等で構築したネットワークを活用することで、横浜市の文化芸術・創造都市施策の実現に貢献します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>「東アジア文化都市」のなかで、日中韓三か国の伝統的な人形劇を集めた公演「三国三様 日中韓の伝統人形劇」を制作・実施し、多くのお客様のご来場と、新聞を中心としたマスコミの注目を集めました。また、横浜トリエンナーレへの広報協力を行いました。</p> <p>大衆芸能専門施設としての展開に加えて、横浜市のイベントや財団の施設などと連携しつつ、さまざまな事業に積極的に参画し、横浜市の文化政策の実現に寄与しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>○ 『横濱ジャズプロムナード』</p> <p>○ 『TPAM(国際舞台芸術ミーティング)』</p> <p>横浜で開催される舞台芸術の国際的プラットフォームへの参加</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□ 『横濱ジャズプロムナード』 のべ2日間参加(職員派遣)。横浜都心部の活性化や市民協働の推進に寄与します。</p> <p>■ 『TPAM(国際舞台芸術ミーティング)』</p> <p>国際的に注目される場で、にぎわい座の空間が新しく効果的な形で活用されることで、これまでとは異なる層への施設PRと利</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>○野毛シャーレで講座「横濱JAZZ PROMENADEを120%楽しもう！」を実行委員会と共同開催し、横浜都心部の活性化や市民協働の推進に寄与しました。</p> <p>○2月6日～15日小ホールでTPAMショーケース参加作品の関かおりPUNCTUMUN『マアモント』と富士山アネット『The Absence of the City Project』を共催・上演し、新たな層へ施設をPRしました。</p>

<p>○『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』</p> <p>○『横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム』</p> <p>○『フェスティバル事業』</p>	<p>用拡大へ繋がります。</p> <p>□『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』『野毛大道芸写真展』への展示会場提供(1回以上)</p> <p>『野毛まちなかキャンパス』講座開催(1回以上)、会場提供(2回以上)</p> <p>□『横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム』</p> <p>コーディネーター事業の実施(1校以上)</p> <p>■『フェスティバル事業』</p> <p>「東アジア文化都市」や「横浜トリエンナーレ」に積極的に寄与していきます。</p>	<p>□『野毛大道芸2014 オータム フェスティバル』の開催に協力しました。</p> <p>なお、展示企画については、大道芸実行委員会側の都合により、今年度は実施されませんでした。</p> <p>『野毛まちなかキャンパス』では、全12講義中、5講義で講義制作・講義サポート・施設提供という形で、積極的に参画しました。□市内小学校3校で落語のプログラムを実施</p> <p>□『横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム』</p> <p>(計7日間実施/延べ725名参加)</p> <p>2校では、プロの落語家による落語・小咄の実演とレクチャーの後に、児童全員が練習、発表を行いました。また、1校では、落語と太神楽曲芸を全校で鑑賞するプログラムを実施しました。</p> <p>■「東アジア文化都市」のなかで、日中韓三か国の伝統的な人形劇を集めた公演「三国三様 日中韓の伝統人形劇」を制作・実施し、多くのお客様のご来場と、新聞を中心としたマスコミの注目を集めました。横浜トリエンナーレへの広報協力を行いました。</p>
---	--	---

(2) 運営について

ア 大衆芸能専門館としての顧客満足度の高い運営の実現について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●専門対応能力とアドバイザーの向上</p> <p>●大衆芸能独特の魅力あるホスピタリティ向上</p>	<p>■公演当日だけでなく、主催者の企画段階での課題や広報や販促についても対応できるよう、きめ細かいアドバイスを行います。</p> <p>■演芸場らしい雰囲気を大切にしながら、来館者や出演者に笑顔で対応します。</p> <p>□季節に応じた館内装飾を実施します。(隔月以上)</p> <p>■インターンシップ(大学生)、体験学習(中学生生徒)を受入れます。</p>	<p>■利用相談の際、プレスリリースの書き方や助成金の申請方法をレクチャーするなど、様々なサポートをきめ細かく行いました。</p> <p>■接遇研修によりホスピタリティの向上を図り、笑顔の対応でお客様から好評でした。</p> <p>□月替わりで季節に応じた館内装飾を実施しました。</p> <p>■大学生インターンシップ(8月)、中学生職業体験(3月)を受け入れました。</p>

	<input type="checkbox"/> 市民や学校などの団体向けに初心者向け講座またはバックステージツアーを開催します。(共催を含み年2回)	<input type="checkbox"/> 横浜秘密の思い出プラン(2回)、横浜アートde街コン(1回)の中で、バックステージツアーを実施しました。
--	---	---

イ 施設の利用促進、利用開発による利用率向上について

<p>[取組内容]</p> <p>●開館について</p> <p>●利用率について</p> <p>●利用促進について</p>	<p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/> 開館予定日数・時間</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">開館日数</td> <td style="text-align: center;">341日 (月2回 施設点検で休館)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">開館時間</td> <td style="text-align: center;">10時～22時</td> </tr> </table> <p><input type="checkbox"/> 目標利用率</p> <p>芸能ホール：85%</p> <p>小ホール：65%</p> <p>*利用可能日に対する稼働率</p> <p>練習室：85%</p> <p>制作室：55%</p> <p>*利用可能時間帯に対する稼働率</p> <p><input type="checkbox"/> にぎわい座HPを活用したホールセールス</p> <p>年2回以上の一般見学会の実施などにより、平日夜間利用を促進します。また、利用希望の重なる土日祝日については、抽選後の空きや突然のキャンセル発生が生じた場合に、直接利用セールスを積極的に行って確実に有効な利用を図ります。</p>	開館日数	341日 (月2回 施設点検で休館)	開館時間	10時～22時	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p><input type="checkbox"/> 開館日数・時間</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">開館日数</td> <td style="text-align: center;">341日 (月2回 施設点検で休館)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">開館時間</td> <td style="text-align: center;">10時～22時</td> </tr> </table> <p><input type="checkbox"/> 利用率</p> <p>芸能ホール：78%</p> <p>小ホール：67%</p> <p>*利用可能日に対する稼働率</p> <p>練習室：65%</p> <p>制作室：36%</p> <p>*利用可能時間帯に対する稼働率</p> <p><input type="checkbox"/> 積極的にホールセールスを行った結果、利用率並びに利用料金収入が前年度を上回りました。</p> <p>ホームページでホールの空き状況をお知らせしたほか、7月と10月の2回実施した夜間見学会や毎月の抽選会の情報ををツイッターで告知するなど、WEBを活用したホールセールスを行いました。</p> <p>また、利用希望の重なる土日祝日については、抽選後の空きや突然のキャンセル発生が生じた場合に、直接利用セールスを行いました。</p>	開館日数	341日 (月2回 施設点検で休館)	開館時間	10時～22時
開館日数	341日 (月2回 施設点検で休館)									
開館時間	10時～22時									
開館日数	341日 (月2回 施設点検で休館)									
開館時間	10時～22時									

ウ 利用ニーズに基づくサービスについて

<p>[取組内容]</p> <p>●多角的ニーズの把握・分析</p>	<p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/> 来場者アンケートによりお客様の声を伺ったうえで、改善や対応が必要な内</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p><input type="checkbox"/> 受付対応やアンケートで伺ったお客様の声に対する回答を、年8回掲出しました。</p>
------------------------------------	--	--

<p>●苦情処理への対応とその反映</p> <p>●新たなサービス開発・提供</p>	<p>容については、年 4 回以上、回答を掲示します。</p> <p>■利用者の相談に幅広く対応し、チケット作成・委託販売、広報協力などきめ細かな公演サポートを行います。</p> <p>■来場者の立場に立ったにオリジナルグッズの販売、わかり易い案内表示を行います。</p>	<p>□利用者のニーズに応じて、公演チケットの作成を代行したり、チケットの委託販売を行ったり、チラシの折り込みやHP掲載などの広報協力を行うなど、きめ細かな公演サポートを実施して、利用者アンケートでも高い評価を得ました。</p> <p>■オリジナル手ぬぐいが好評を博し、問合せ増加に応じて、12月下旬から1月に電話受付による発送サービスを実施しました。また、案内表示を見直し、一部に多言語表記を取り入れました。</p>
--	--	---

エ 広報取組みについて

<p>[取組内容]</p> <p>●新たな広報ツールやネットワークの活用（WEBサイトを活用したホールセール・公演情報発信）</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■抽選後、ニーズの高い大小ホール土日祝の空状況をHP告知し、利用希望者へ確実な提供ができるようにします。同時に貸館公演の誘致に繋がるよう毎月の情報更新を行います。</p> <p>□公演情報発信</p> <p>ツイッターにより公演情報・チケット情報等の速報に発信していきます。（月45件）</p> <p>また、公演予告や制作風景等の映像素材や、公演の魅力や見どころを案内するトピックスや読み物などにより、定期的に見に来たくなるような、プロモーションに繋がるWEBサイトを展開していきます。（月平均Pv135,000）</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■ホームページで芸能ホール、小ホールの土日祝空状況に加え、練習室のキャンセルによる土日祝空き状況を告知しました。その情報をこまめに更新し、貸館を誘致しました。</p> <p>□常打ち公演等の公演情報やチケット発売を中心に、各種情報をツイッターで発信しました。月平均の発信数は40件で、目標指数には到達しませんでした。前年度より11%増加しました。次年度以降は、定型の公演情報の他、施設管理連の情報やトピックス等の内容を充実させ、さらに発信数の増加を図ります。</p> <p>また、webサイト上では、5件のオリジナルの動画の発信の他、チケットの販売状況や施設の空き状況等を定期的に発信することで、月平均154,700以上のページビューが得られました。</p>
--	--	---

オ 組織的な施設運営について

<p>[取組内容]</p> <p>●業務に応じた適切な人材配置のもと、施設の管理運営および事業展開が遂行できる勤務体制</p>	<p>[達成指標]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="517 248 817 931"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1</td> <td>非常勤</td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>1</td> <td>課長補佐級</td> </tr> <tr> <td>管理運営 チーフリーダー</td> <td>1</td> <td>係長級</td> </tr> <tr> <td>事業運営 チーフリーダー</td> <td>1</td> <td>係長級</td> </tr> <tr> <td>担当 リーダー</td> <td>1</td> <td>管理運営系</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>5</td> <td>管理系2、 事業系3</td> </tr> <tr> <td>企画 コーディネーター</td> <td>1</td> <td>業務委託 (非常勤)</td> </tr> <tr> <td>アルバイト スタッフ</td> <td>2</td> <td>予定</td> </tr> <tr> <td>にぎわい スタッフ</td> <td>28</td> <td>総予定人数</td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="checkbox"/>勤務体制について</p> <p>基本：館長、企画コーディネーターを除くスタッフでのシフト制。シフト数は主催事業や貸館状況に応じて、配置人数は変動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務室 <ul style="list-style-type: none"> A 勤務（9:30～18:15） 最小2名 B 勤務（13:30～22:15） 最小2名 ・受付窓口 <ul style="list-style-type: none"> A 勤務（9:45～13:55） 人数は状況対応 B 勤務（13:45～17:55） 人数は状況対応 C 勤務（17:45～22:00） 人数は状況対応 ・舞台技術スタッフ（委託）： 利用状況に応じた体制 	項目	人数	備考	館長	1	非常勤	副館長	1	課長補佐級	管理運営 チーフリーダー	1	係長級	事業運営 チーフリーダー	1	係長級	担当 リーダー	1	管理運営系	職員	5	管理系2、 事業系3	企画 コーディネーター	1	業務委託 (非常勤)	アルバイト スタッフ	2	予定	にぎわい スタッフ	28	総予定人数	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p><input type="checkbox"/>人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="849 248 1165 931"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1</td> <td>非常勤</td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>1</td> <td>課長補佐級</td> </tr> <tr> <td>管理運営 チーフリーダー</td> <td>1</td> <td>係長級</td> </tr> <tr> <td>事業運営 チーフリーダー</td> <td>1</td> <td>係長級</td> </tr> <tr> <td>担当 リーダー</td> <td>1</td> <td>管理運営系</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>5</td> <td>管理系2、事 業系3</td> </tr> <tr> <td>企画 コーディネーター</td> <td>1</td> <td>業務委託（非 常勤）</td> </tr> <tr> <td>アルバイト スタッフ</td> <td>3</td> <td>延人数</td> </tr> <tr> <td>にぎわい スタッフ</td> <td>25</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="checkbox"/>勤務体制について</p> <p>基本：館長、企画コーディネーターを除くスタッフでのシフト制。主催事業や貸館状況に応じて、適切な配置人数としました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務室 <ul style="list-style-type: none"> A 勤務（9:30～18:15） 最小2名 B 勤務（13:30～22:15） 最小2名 ・受付窓口 <ul style="list-style-type: none"> A 勤務（9:45～13:55） 人数は状況対応 B 勤務（13:45～17:55） 人数は状況対応 C 勤務（17:45～22:00） 人数は状況対応 ・舞台技術スタッフ（委託）：利用状況に応じた体制 	項目	人数	備考	館長	1	非常勤	副館長	1	課長補佐級	管理運営 チーフリーダー	1	係長級	事業運営 チーフリーダー	1	係長級	担当 リーダー	1	管理運営系	職員	5	管理系2、事 業系3	企画 コーディネーター	1	業務委託（非 常勤）	アルバイト スタッフ	3	延人数	にぎわい スタッフ	25	
項目	人数	備考																																																												
館長	1	非常勤																																																												
副館長	1	課長補佐級																																																												
管理運営 チーフリーダー	1	係長級																																																												
事業運営 チーフリーダー	1	係長級																																																												
担当 リーダー	1	管理運営系																																																												
職員	5	管理系2、 事業系3																																																												
企画 コーディネーター	1	業務委託 (非常勤)																																																												
アルバイト スタッフ	2	予定																																																												
にぎわい スタッフ	28	総予定人数																																																												
項目	人数	備考																																																												
館長	1	非常勤																																																												
副館長	1	課長補佐級																																																												
管理運営 チーフリーダー	1	係長級																																																												
事業運営 チーフリーダー	1	係長級																																																												
担当 リーダー	1	管理運営系																																																												
職員	5	管理系2、事 業系3																																																												
企画 コーディネーター	1	業務委託（非 常勤）																																																												
アルバイト スタッフ	3	延人数																																																												
にぎわい スタッフ	25																																																													

施設名	26年度	
	稼働率	利用者人数
芸能ホール	78% (74%)	65,543 人
小ホール	67% (50%)	20,069 人
練習室	(65%)	4,104 人
制作室	(36%)	1,748 人
合計		91,464 人

※稼働率：日にち単位（時間帯単位） 練習室・制作室は時間帯単位のみ

(3) 管理について

ア 安全・安心・快適な施設の維持管理について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ●施設・設備・備品の安全確保 ●高齢者や身体障害者に配慮した安心な施設 ●施設評価満足度の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ■年間を通じた管理者責任による人身事故ゼロを含む安全な状態での施設設備提供 ■所管課との施設設備保守管理状況の情報共有 □サービス介助士2級取得者が常勤スタッフ中1名以上在籍 ■来場者アンケートの実施による満足度把握および要望改善事項への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ■日常管理により施設の不具合に初期対応し、施設の安全管理を徹底した結果、管理者責任による人身事故ゼロを達成しました。 ■所管課と施設設備保守管理状況を共有し、お客様に安心してご利用いただける環境を維持しました。 □サービス介助士2級取得者が3名在籍 ■来場者アンケート、施設利用者アンケートによりお客様満足度を把握し、ご要望事項に対しては柔軟に対応しました。

イ 施設予防保全への取組みについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ●館内の日常設備点検実施と委託先との情報・課題共有 ●管理組合との調整・連携 	<ul style="list-style-type: none"> □建物総合管理業務委託先との定例業務報告会の実施、情報交換と確認（毎月1回） □ビル管理組合理事会への参加、情報共有（月1回） 	<ul style="list-style-type: none"> □毎月1回建物総合管理業務委託先との定例業務報告会に加え、施設設備の状況変化はその都度情報を共有しました。 □ビル管理組合理事会に参加し、共有部を含めた建物全体の情報を共有しました。

ウ その他管理・保守点検に関する実施業務について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ○建物総合管理業務 ○舞台機構・音響設備・舞台照明・各保守点検業務 	<ul style="list-style-type: none"> ■専門業者に委託し、関係法令ならびに管理業務基準に沿った管理・保守点検を 	<ul style="list-style-type: none"> ■専門業者に委託し、関係法令ならびに管理業務基準に沿った管理・保守点検を実施しました。施設設備を良好な状態に保つことができました。

	実施	
--	----	--

5 収支予算について

(1) 収支について

<p>[取組内容]</p> <p>●適正な収支管理と収入増</p>	<p>[達成指標]</p> <p>経費執行管理の徹底と収入増につながる方策を実施する中で、全体の収支バランスをとりながらサービスの質を維持しつつ、厳しい経済情勢に見合った健全で持続可能な経営を目指します。</p> <p>■事業収支</p> <p>これまで来場したことの無い顧客から、大衆芸能のコアなファン層まで、相手に訴求できるようプロモーションをWEBサイト中心に展開するとともに、団体・組織への販売促進を中心とした営業活動により、入場料収入増を図ります。</p> <p>■管理運営収支</p> <p>利用料金増収にむけて、既存利用者の底上げ(確実な再利用への誘導と利用回頻度増)、新規利用者層の拡大への取組み(一般むけ見学会の上下半期ごとの開催、近隣企業団体への利用促進活動など)を実施します。</p> <p>支出面については、引き続き業務量に応じた適正なにぎわいスタッフ数配置管理と光熱水費、消耗品費の削減</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>経費執行管理の徹底と収入増につながる方策を実施し、収支バランスをとりました。チケット発売日の前倒しや利用者獲得策により収入を確保しつつ、収入に見合った経費執行とし、健全で持続可能な経営を実現させました。</p> <p>■事業収支</p> <p>主催公演の収支改善のため、またチケット販促の強化のため、チケット発売日を1か月前から2か月前に前倒し、webサイト上で5件のオリジナルの動画を発信しました。団体客向けバックステージツアーの開催など対応の強化を行いました。また、事業の実施経費について、費用対効果の面からさらなる見直しをはかり、収支状況の改善につとめました。</p> <p>■管理運営収支</p> <p>既存利用者の底上げ(次回利用への確実な誘導と利用回頻度増)、新規利用者層の拡大への取組み(一般むけ見学会を2回開催、近隣企業団体への利用促進活動など)が実を結び、利用料収入は前年度を上回りました。支出面では、にぎわいスタッフ配置人数の見直し等による人件費抑制、空調運転の徹底した制御による光熱水費抑制、さらに委託費の削減により収支の健全化を図りました。</p>
-----------------------------------	--	--

	を通して収支の健全化に取り組みます。	
--	--------------------	--

平成26年度 横浜にぎわい座収支報告書

2014.6.24現在

収入	項目	予算額	決算額	差異(決-予)	備考
	指定管理料	196,885,000	196,885,000	0	横浜市より
	利用料金収入	20,500,000	20,003,230	▲ 496,770	
	事業収入	143,370,000	125,937,942	▲ 17,432,058	
	その他収入	10,668,400	10,999,586	331,186	東アジア受託料を含む
	合計	371,423,400	353,825,758	▲ 17,597,642	
支出	項目	予算額	決算額	差異(決-予)	備考
	人件費	92,570,000	79,708,469	▲ 12,861,531	
	管理費	118,439,000	113,570,408	▲ 4,868,592	修繕費/光熱水費/負担金(管理組合)/委託費
	事業費	143,180,300	138,402,009	▲ 4,778,291	東アジア事業費を含む
	事務費	17,234,100	17,657,368	423,268	
	合計	371,423,400	349,338,254	▲ 22,085,146	
当期収支差額		0	4,487,504	4,487,504	